

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財)神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室
電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966
●発行者：山田 隆 ●編集責任：徳本 進
<http://www.sak.or.jp/>

今年はレースに 挑 戦

～チャレンジカップへ行こう!～

開かれた 競技大会を!



競技本部長
菊地 富士夫

今期は、従来の大会も継続しつつ、新しく「チャレンジカップ」と銘打ってオープン大会を開催することになりました。スポーツのあり方の原点に立ったスポーツ環境作りと、「スポーツ・フォア・オール」色々な目的を持った全ての人が参加できる競技会の企画・運営に取り組んで行きたいと考えています。

昨年、県主催のコーチサミット(各競技団体の集い)に参加する機会をいただき、国内の各競技団体の状況や海外のスポーツ活動について知識を得ることが出来ました。

日本では、たとえば高校野球で試合に出られるのは20人ほど。あとの部員は球拾いだけで野球部生活を終えてしまふ。ほかに、テニス、ラグビーなどの競技でもレギュラーに選ばれなければ練習だけで終わってしまいます。ところが海外では多くの競技団体で、レギュラーだけでなく、2軍3軍といったクラスの大会が開催されているのです。スキー競技においても、このような大会を開催することが必要であることを確信しました。

最近の大会では、常連の方々の参加

がほとんどで、はじめて参加する人はなかなか居ないのが現状です。上越で行っていた県民大会については、日程の変更も含めてすべての市民を対象とした大会として、今後3年ぐらいをめどに定着させていきたいと考えています。すべての市民というところは、クラブにも所属していないような方々も含めて考えているという事です。

選手の育成強化についても、もちろん積極的に取り組んでいくつもりです。ジュニアについては従来の強化計画を進めながら、地域の指導者、高体連、中体連とも連携を図り、選手の発掘に努めます。

大会の運営については、今期から総務・教育本部を含めた体制をとって参ります。そこで、様々な意見を取り入れ、運営に反映させていきたいと考えています。

「スキーは楽しく」を原点に



教育本部長
渡辺 三郎

今期は現在70人ほどいる専門委員の“和”を大切に活動していきたいと考えています。会員の皆さまに対しては、個人の要望にできるだけ対応し、行事への参加者を一人でも増やしていきたいと思えます。

昨シーズン、SAK指導員の理論研

修会の参加者は約1000人、車山行事の参加者は約700人でした。参加者数は減ってはいませんが、安心はできません。雪なし県の指導員は雪に慣れる気持ちがあります。その思いからくる熱心さや、各個人の期待に添えて参ります。

一昨年、研修会の参加者にアンケートを実施しました。一番多かったのは「研修内容の充実」と「専門委員のレベルアップ」を望む声でした。スキー人口が減少し、検定会が開けないクラブが存在する中、常に検定する目を養うために、昨年のクリニックの養成講習会では模擬検定会を実施しました。

専門委員のレベルアップとしては、元デモンストレーターを招いて強化合宿を行いました。これらは好評だったので、ぜひ毎年続けていきたいと考えています。

ほかに「クリニックへのVTRの導入」を望む声などがありました。こうしたニーズにはできるだけ応えたいと考えています。

先シーズンは「神奈川県・千葉県スキー技術選手権大会」や「環富士山スキー技術選手権大会」などが行われ、県を超えた大会の地下ができました。「環富士山」は大会をさらにオープン化し、女子の2部を設けていきたいと思えます。

「技術選」では、千葉県のクラブ対抗戦が盛り上がりつつあったのが印象的でした。神奈川県でもクラブ対抗戦はぜひ導入していきたいと思えます。

スキーの原点には、「スキーは楽しく」ということがあると思います。これまでの車山行事はゲレンデが込み合っただけ、「楽しいスキー」をするには限界も感じました。来シーズンの研修会では、車山行事が12月下旬にずれ、シーズン初の行事が北海道になります。忘年会をかねて車山行事に参加される人も多かったと思いますが、なるべく分散して各行事に参加してもらえたらと思っています。

**「緑の下の力持ち」
として牙城を支える**



総務本部長
片 忠夫

今期は2つのことを実現していきたいと考えています。
1つめは、SAKが試みている新しい行事や事業展開について総務スタッフがアイデアを出し合い、これをサポートしていくことです。具体的には教育本部主催による「神奈川県・千葉県スキー技術選手権大会」の開催、「環富士山スキー技術選手権大会」への参加、競技本部による「南関東マスターズ・ジュニア選手権大会」への参加などがあります。
新しい行事を企画すると様々な問題が発生します。競技者登録をどうするか、各大会を共催する団体との話し合いの場をいかに設定するか…。こうし

た問題にひとつ一つきちんと対応していきたいと思っています。

2つめはスノーボードに関するシステムの構築です。先シーズンからSAKにスノーボード委員会が発足しました。スキー連盟にスノーボードを取り入れるというSAJの方針にSAKも合わせたのですが、期待するほど競技人口は増えず、クラブもそれほど誕生しませんでした。

また、競技会の管轄は競技本部、資格登録の管轄は教育本部と2つの本部で分担したために登録料が支払われなかつたり、準指導員の方の所在がつかめないなど、会員登録は混乱しました。総務本部ではこれを一元的に管理することで、きちんとしたシステムを構築していきたいと考えています。

これら2つの課題に対応するため、前年度まで10人だった総務本部のメンバーを今年度から12人に増やしました。新人理事には総務本部で組織運営の基礎を学んでもらい、将来は教育本部や競技本部で活躍してもらおうよう、人材育成に努めていきたいと思っています。
SAKの準指導員受験者数は横ばい状態です。スキー人口は減り、組織運営はますます厳しい状況です。こうした時代に、総務本部がどっしり構えていなければ牙城は崩れてしまうでしょう。次世代を見据えながら、信頼性をもたれる仕事をしていきたいと思っています。

**スノーボード
委員会が
できました**



スノーボード委員長
望月 博文

まず、スノーボードの専門委員会ができたことを皆さんにぜひ知ってほしいと思っています。

県連は、やはりスキー色が強いのでボーダーには、抵抗があるようです。ですから、県連にはスノーボード委員会があるということをみんなに知ってもらうことが大事です。

これまで、教育・競技両本部に分散していたのが、スノーボード委員会として独立した形です。
委員会のメンバーは、全国でも1・2位を争うような豪華なメンバーが揃っており、SAJへも2名派遣しています。

大会や検定会等の行事は、昨年どおり行う予定です。昨年もレースは人が集まったのですが、バジテスト等はまだあまり知られていない状態で、参加者が少ない状況でした。

今期は、レースはもちろん、教育に力を入れていきたいと考えています。ぜひ皆さんの参加をお願いしたいと思います。

競技本部のチャレンジカップの開催は、競技会をオープン化し、競技会参加者のすそ野を広げたいというねらいがあります。

チャンピオンシップのレースでは、県連という組織の中だけで序列を争う傾向が強くなつてしまい、それではつまらない。いろいろなレベルのレースを公にやりたいと思います。それも、会員だけでなく、

**今年のテーマは
競技会の
オープン化**



専務理事
山田 隆

オープンで。それが新規の会員獲得へつながっていくいいなと考えているわけです。また、環富士山スキー大会もオープン化し、共同開催する3県（神奈川県、静岡県、山梨）以外の選手が参加してもいいと思っています。今年度は静岡が開催県連になります。今後はこうした拡大主義を取っていきたいと思っています。

平成14年度 競技本部行事計画

1. 連盟主催行事

HC=ハンデキャップ参加の可否

No	行 事 名	会 場	期 日	HC	担当理事
1	第1回 チャレンジカップ 第1戦 野辺山大会	野 辺 山	14/12/20(金)~12/22(日)		本宮
2	第61回神奈川県スキー選手権 ノルディック種目	池 の 平	15/1/2(木)~1/3(金)	可	平沢
3	第8回 南関東ノルディック競技会 兼第58回 国体スキー競技会神奈川県選考会 兼第25回 神奈川県民大会	池 の 平	15/1/17(金)~1/19(日)	可	平沢
4	第4回 クロスカントリーマスタース大会	池 の 平	15/1/17(金)~1/19(日)	可	平沢
5	SAJ公認第4回神奈川県マスタース大会	上 越 国 際	15/1/17(金)~1/18(土)		菊地
6	第1回神奈川県マスタース選手権2連戦 兼第4回ジュニア選手権	上 越 国 際	15/1/17(金)~1/18(土)		菊地
7	第25回 神奈川県民体育大会 兼第58回 国体スキー競技会神奈川県選考会	上 越 国 際	15/1/18(土)~1/20(月)	可	菊地
8	第20回 神奈川県スキー選手権(スピード系)	上 越 国 際	15/1/20(月)~1/21(火)		菊地
9	第1回 チャレンジカップ 第2戦 岩岳大会 兼第4回 クラブ対抗スキー大会	岩 岳	15/1/31(金)~2/2(日)		本宮
10	第54回 神奈川県総合体育大会スキー競技会	津 南	15/2/28(金)~3/2(日)		栗田
11	第61回 神奈川県スキー選手権(アルペン種目)	上 越 国 際	15/3/7(金)~3/9(日)	可	本宮
12	第3回 歩くスキー兼クロスカントリー級別テスト	池 の 平	15/3/29(土)~3/30(日)	可	平沢
13	第1回 チャレンジカップ 第3戦 野辺山大会	野 辺 山	15/4/4(金)~4/6(日)		本宮
14	第1回 神奈川県マスタース選手権 2連戦	八 海 山	15/3/1(土)~3/2(日)		菊地
15	第4回 クラブ対抗駅伝競技会	相 模 原	15/5/18(日)		平沢

2. 連盟主催 通常競技力向上・普及合宿

No	行 事 名	会 場	期 日	HC	担当理事
1	ノルディック夏季ローラー合宿	相 模 原	14/10/12(土)~10/14(月)		平沢
2	ノルディック合宿兼フレッシュマン講習会	池 の 平	14/12/29(日)~1/2(木)	可	平沢
3	春期アルペン総合合宿	八 幡 平	15/4/26(土)~5/3(土)		菊地

3. スノーボード行事

No	行 事 名	会 場	期 日	HC	担当理事
1	スノーボード教室	北 海 道	14/12/10(火)~12/15(日)		早川
2	SAKスノーボード指導員 養成講習会 Aコース	北 海 道	14/12/13(金)~12/14(土)		早川
3	スノーボードアルペン合宿	一 の 瀬	15/1/3(金)~1/5(日)		早川
4	FIS公認第8回スノーボード選手権南関東大会	尾 瀬 戸 倉	15/1/17(金)~1/19(日)		早川
5	SAKスノーボード指導員 養成講習会 Bコース SAKスノーボード指導員 研修会 技術レベルアップ講習会	白 馬 五 竜	15/2/1(土)~2/2(日)		早川
6	SAKスノーボード指導員 研修会	車 山 高 原	15/2/14(金)~2/15(土)		早川
7	SAKスノーボード指導員 養成講習会 Cコース 技術レベルアップ講習会	車 山 高 原	15/2/15(土)~2/16(日)		早川
8	第3回 神奈川県スノーボード技術選手権南関東大会	車 山 高 原	15/3/1(土)~3/2(日)		早川
9	SAKスノーボード指導員 養成講習会 Dコース	車 山 高 原	15/3/7(金)~3/8(土)		早川
10	SAKスノーボード指導員 検定会	車 山 高 原	15/3/8(土)~3/9(日)		早川

平成14年度 教育本部行事計画

HC = ハンデキャップ参加の可否

No	行事名	内容	会場	期 日	HC	担当理事
1	研修会 理論	指導員研修会 理論	川崎市教育文化会館	14/11/16(土)		木村
2	養成講習会	指導員養成講習会・理論1	神奈川県民センター	14/11/3(日)		菊地
		指導員養成講習会・理論2	神奈川県民センター	14/11/10(日)		
3	南関ブロック	ブロック技術員研修会	車 山 高 原	14/12/7(土) ~ 12/8(日)	---	木村
4	北海道行事	指導員研修会 (A)	北 海 道	14/12/10(火) ~ 12/15(日)	---	総務本部 清水
		クリニック (A)			---	
		指導員養成講習会 (A)			---	
		基礎スキー技術強化合宿 (A) 県民スキー・スノーボード教室			---	
5	車山行事 I	指導員研修会 (B) クリニック (B)	車 山 高 原	14/12/21(土) ~ 12/22(日)	---	菊地
6	野辺山行事	指導員研修会 (C) クリニック (C)	野 辺 山	15/1/4(土) ~ 1/5(日)	---	清水
7	五竜行事 I	指導員研修会 (D)	白 馬 五 竜	15/1/17(金) ~ 1/19(日)	---	木村
		クリニック (D)			---	
		指導員養成講習会 (B)			---	
		基礎スキー技術強化合宿 (B)			---	
		パトロール養成講習会 (A) レベルアップ講習会 (A)			可	
8	車山行事 II	第2回 SAK・SACスキー技術選手権大会 兼全日本スキー技術選手権選考会 第8回学生スキー技術選手権大会	車 山 高 原 ※特別研究会 (指導員会主催)	15/1/24(金) ~ 1/26(日) 千葉県と共催	可 可	菊地
9	五竜行事 II	指導員養成講習会 (C) パトロール養成講習会 (B) SAK専門委員強化合宿 (A)	白 馬 五 竜	15/2/1(土) ~ 2/2(日)	可 ---	清水
10	車山行事 III	指導員養成講習会 (D) レベルアップ講習会 (B)	車 山 高 原	15/2/14(金) ~ 2/16(日)	可	木村
11	八方行事 I	基礎スキー技術強化合宿 (C)	八 方 尾 根	未 定		渡辺
12	五竜行事 III	指導員養成講習会 (E) クラウン・テクニカルプライズテスト SAK専門委員強化合宿 (B)	白 馬 五 竜	15/2/22(土) ~ 2/23(日)	可 ---	木村
13	基礎合宿	基礎スキー技術強化合宿 (D)	八 方 尾 根	15/3/3(月) ~3/5(水)		渡辺
14	車山行事 IV	準指導員検定会 (理論・実技) B・C級公認検定員検定会 (A)	車 山 高 原	15/3/7(金) ~ 3/9(日)	---	清水
15	五竜行事 IV	第2回 環富士山スキー技術選手権	白 馬 五 竜	15/3/15(土) ~ 3/16(日)	可	木村
16	車山行事 V	指導員研修会 (E) クリニック (E)	車 山 高 原	15/3/29(土) ~ 3/30(日)	---	菊地
		B・C級公認検定員検定会 (B)			---	
17	海外スキー	2003 SAKスペインスキーツアー	アンダルシア/ シエラネバダ	15/4/5(土) ~ 4/14(月)		総務本部



幹事長 大山重彦

ゴルフコンペと私



副会長 古藤 公昭

指導員会では毎年春と秋にオフシーズンの会員相互の親睦とオフトレを兼ね(?)ゴルフコンペを行っています。

広々としたゴルフ場で、朝一番のティーショットを打つときの心境は、スキー大会でスタート台に立ったときの心境と同じです。

ティーショットを豪快に打ち、芝を力強く踏みしめて歩いてみると、カービングスキーをしっかりと踏んで滑ることが出来るような気分になります。

ところが、力が入りすぎてOBになつてしまうことも多く、もっと練習しなければと感じるところもスキーと同じです。

最近のゴルフ場は乗用カートが普及して大して歩かないため、一日楽にプレーが出来るようになり、体を動かすと言う観点からは不満ですが、高齢化の波にゴルフ場も対応しなければ

いけない事と理解しています。来るべきシーズンの目標に向けて、又楽しいシーズンを送るため体を動かし、雪の上でお会いできる日を楽しみにしております。



平成15年度事業案内

①カービングスキーのための

コンディショントレーニング講習会

9/14、10/12、11/17

横浜市金沢振興会館体育館

参加費…3,000円(3回)

講師 元全日本アルペン強化コーチ

塚脇 誠氏

②第65回親睦ゴルフコンペ

10/20、21 小海リエックス

参加費…20,000円(オール込)

③カービングスキー上達

雪上トレーニング講習会

12/14、15、03/1/12、13、03/3/1

講師:塚脇 誠氏 他

④第16回特別研究会

03/1/24、26 車山高原スキー場

⑤第3回車山チャレンジカップ

03/2/15 車山高原スキー場

⑥第22回オール神奈川

スキーヤーズ大会

03/3/1、2 八海山麓スキー場

※3/1午前ボール講習会あり

⑦第19回指導員フェスティバル

03/4/5、6 車山高原スキー場

※詳細は指導員会ホームページをご覧ください。



ホームページ
特別寄稿や新コーナーで
内容を一新!
今、話題のサイトに

平成14年6月からHP準備委員会をIT委員会に名称変更しました。

内容も一新し、塚脇誠氏の特別寄稿「スキーの選び方」「スキーブーツの選び方」「ストックフックのメリット(重要性)」といった特集や、「かながわぶらり旅」「注目のニューモデル」など新コーナーがスタートしました。

会員の皆さまに有用な情報をタイムリーに提供する一方、掲示板「みんなの広場」で会員相互のコミュニケーションとご意見・ご要望をいただくコーナーも設けました。

今後、更に親しまれ役に立つホームページになるよう内容の充実に努めて参ります。皆さまのご来訪をお待ちしております。



URL
<http://www.fsnet.or.jp/~sik/>

SAKトップに直撃インタビュー

第3回

今回は、今号の特集にも登場しました競技本部長の菊地富士夫さんへの直撃インタビューです。さて、どんな話が飛び出すことでしょうか。

Q1 スキーを始めたきっかけは？

生まれは、群馬県の水戸です。谷底の町で、小学校のころは、それぞれバットとグローブを持っていれば英雄扱いをされた。そんな所で、スキーしかなかったんですよ。11月中旬からスキーはできましたね。でも、正式に始めたのは、中学校からで、おじがスキーのパトロールをやっていたのに憧れたからかなあ。最初、競技には全く興味なかったんですよ。というのも、スキーには、何か境界線のようなものがないで、自由な雰囲気があるじゃないですか。競技にとっぴりの今でも、ス

ーパーGとか滑降がやりたい方なんですよね。制限するより、限界に挑戦するみたいなのの方にひかれるんです。小さい頃、地元の大穴スキー場にある松の木から直滑降した人がいて伝説になっていたりしたから、その影響かな。中学校では、ポールばかりやってたのですが、この水上中部中学というのが、オリンピックや世界選手権で有名な市村政美選手など強い選手が先輩にいて、コーチングスタッフもしっかりしており、結構すごかったですね。それに、スキー部は、冬場掃除当番が免除されていたんですよ。それも魅力だったかな。それで夜7時まで練習やって、バスで帰るんです。それからずっとレースをやってきました。

Q2 競技の仕事をするにはどうやって入るんですか？

専門委員はもう20年やっているかな。その間、ずっとチャンピオンシップのレースばかりをやってきました。僕は、レースや合宿などの環境を作り出すのが好きなんです。血液型がAB型なので、二重人格でね、自己満足しちゃってますよ。30歳のとき、佐々木峻さんに「お前、コーチになれ」といわれて、現役をやめて、以来専門委員をやっています。ずっと、佐々木さんと2人3脚でやってきたという感じです。

現役をやめたときは、気が小さいものだから、正直、開放感を味わいました。だって、試合の前日は眠れないし、9月頃になると、昨シーズンの滑りができるか心配になったりしてたんですから。(そうは見えないが?)

また、既存のクラブに飽き足りなくて、新しいクラブを作ることになりました。その結果、三星雄大選手がインターハイで4位入賞してくれたことが、一番うれしかったですね。大会も選手強化の場と考えると、いつかはオリンピック選手を出そうと夢見てやってきたのですが、いろんなものを犠牲にしてきました。特に家族は大変だったと思っています。でも、三星選手の入賞を聞いて、カミさんが「よかったね」と言ってくれたから、分かってくれているんだなって思います。彼と出会えて協力できて、結果を残せて、初めてそういう人たちに恩返しできた、そう考えています。

Q3 これからのことをおたずねしたいのですが。

今は、指令塔になって、「これやっ」と言えば、専門委員がやれるようになってきています。昔は、スキー場もバスの手配も書類の送付もみんな一人でやっていた感じでしたけど。あの程度、本部長が決めてしまっていたと思うのです。それで後は委員会(専

門委員)に任せれば、そちらの方も自然と育っていくことができる。昨年までは、同じことを繰り返してききましたから、この辺で活性化しなければならぬと思っています。



ずっとレースの仕事をやってきましたが、本部長はこの1期でと思っています。この間に競技の委員会を活性化し、人材を育てて行きたいと思っています。そのためにもいい人材がいるので、期待しています。そうすれば、チャンピオンシップやチャレンジカップ等もしっかり運営できると考えています。みなさんも、これからの競技本部、専門委員会に期待してください。